

物語の世界であそぼう！「11ぴきのねことぶた」



実施者：特定非営利活動法人
子ども劇場おやこ劇場埼玉センター

社会や地域の課題

近年、子どもたちは、あらかじめ大人に敷かれたレールの上を歩くことが多く、想像力の欠如や失敗に対する耐性が弱いことが指摘されています。また成長の過程でコロナ禍にいた子どもたちは、かかわる体験が不足しています。他人とかかわり、気持ちを汲み取る、意見を出し合い、話し合い、協力し、試行錯誤するという過程を小さいときから体験するという機会が失われています。

取組概要及び成果

公演中、子どもたちはとても集中して劇を観ていました。物語の世界に入り込み、笑ったり、驚きの声をあげたり、ねこに声をかけたり、様々な反応がありました。ねこたちといっしょにハプニングに驚いたり、楽しんだりしていることが見て取れました。11ぴきのねこは集団で行動します。その中で、みんなで話し合いながらすすんでいき、ハプニングがあればみんなで話し合い、乗り越えます。この物語が子どもたちにみんなで何かをする楽しさを伝えることができたと考えます。

開演前と終演後に実施した「ねこのまちをつくろう！」では、それぞれが道路にいろいろな装飾を施したり、ねこや自分を参加させたり、家を建てたりと、イメージーションあふれるまちができました。誰かの道路につなげる、どんなふうにつなげていくかを考えることで、みんなで町をつくる楽しさも感じる事ができたと思います。一人ではできないあそびを提供できたことと考えます。